



あめ 雨が断続的に降る中
ながまち 長町の武家屋敷跡で
そうえんか 造園科の薦掛けの
じつぎょう 実践授業が行われていた

なあに
ほろく 北陸の冬は
だいたい 大体こんな
ですわ

あめ 雨が降ったり
やんだりして
ますけど……!

こもが 薦掛けの時期は
みずい 水を一時
せき止めて
ようすい 用水の中で
さきよう 作業をします

それを防ぐために
薦を掛けて
おくんです

そこから
凍結して
土壁が傷ついたり
ボロボロ崩れて
しまう

積もった雪を
路肩に寄せておくと
土壁の下の方が
濡れるでしょう

石川県の
造園組合が
協力して一緒に
やってるんです

この仕事は
職大が受けている
ものでしてね

そうすると
土壁のひび割れや
小さな隙間の中に
水が入り込んで



金沢市公式YouTubeチャンネル 『金沢 雪吊りと藁掛け』参考



こちらはい
雪吊りと言つて

葉に雪が乗つて
重みで枝が
折れないように
するためのものです

大きな木になると
上に登つて
縄をおろしたり
しますね

明治期に
果樹園が多かつた
この長町が
発祥の地と
言われています

てつぺんの
「カザリ」の
形を見れば
金沢の雪吊りだと
すぐにわかりますよ

木や枝の
形状によつて
りんご吊り

幹釣り

竹又吊りなどの
種類があります

木の枝の
剪定ももちろん
造園屋さんの仕事で
「透かし」と言います

北陸は
下から覗いて
空が見えるほど
枝を切ります

関東とかでは
小枝を大切にして
モコモコと
していますかね

こちらでは
枝や葉つばが
重なったその上に
雪が積もつて

枝が折れたり
しないように
風通しよく
明るく仕立てます



自分たちが
やってるのは

この景色を
守るためのお手伝い
その技術や
文化的背景

まち
町と歴史と自然
どれくらい
共存できるか

そういうものが
忘れられないように
伝えていくことです

いま市や町の
皆さんが一緒に
なってる考えている
ところなんで

わたしら職人は
そこにどれだけ
お力になれるか

ただ
それだけです

職人さんたちの
言葉からは
常に自信と謙虚さ
を感じた

職人という仕事は
風土と文化を
守る人たちの
生き様なのだと

僕はそう
感じた

金沢職人ばなし（瓦科・石工科・造園科）

2025年6月10日発行

漫画家 坂上暁仁

発 行 公益社団法人 金沢職人大学校

〒920-0046 石川県金沢市大和町 1 番 1 号

Tel 076-265-8311 Fax 076-225-8314

Webサイト <https://www.k-syokudai.jp/>

©金沢職人大学校2025 <禁無断複製>